

(1) 大目神社本殿について

所在地：瀬戸市^{はざま}巡間町 1

所有者：大目神社

名称	形式	建設年代	登録基準
大目神社本殿	木造平屋建、 銅板葺き 銅板葺	文化 2 (1805) 年 / 昭和 52 (1977) 年改修	造形の規範となっているもの

【概要】

瀬戸市南東部赤津地区の^{おおまもり}大目森と呼ばれる小高い丘の上に位置する神社本殿。
三間社^{さんげんしゃ}流造り^{ながれづくり}¹銅板葺きで、正面柱間は吹放ち²となっている。内陣^{わきえん}³と脇縁⁴の間に板戸が設けられていることが当本殿の特徴である。

三間社流造り¹ 神社建築の様式で最も一般的とされる「流造」のうち、正面の柱が 4 本、柱間の間口が 3 間あるもの

吹放ち² 柱だけで壁がない空間のこと

内陣³ 神社や寺院の内部で、神体または本尊を安置する最も奥の部分

脇縁⁴ 建物の外側の板敷きの部分



大目神社本殿（瀬戸市提供）



大目神社本殿（瀬戸市提供）